

革命戦線

16.3

革命戦線大阪地区委員会南支部

II 全大阪のよびの先進的諸君 II

我が同盟赤軍系は、同志社会において野合ナド
(戦旗系)をコソバみじんに粉で、京大における
集金を盛ら取った事を報告しよう。

（わりのナドに商地区系は、たが提議したと
闘争の向是を世平可に考へ、通常の武装斗争
を提議する事により言葉では提議を主張し、毒臭
主義を否定しているかに主と、内裏は、ソコ
遊デキ戦ゲンみ重むられ私大されていくいつの
まにか内戦一古界革命戦争に至っているのよつに
さうかく、大衆の高ぶる自然発生性前にハイキ
セヤをえなほしたのである。中核も、島様の現代カウ
ンキー主義（一日主義）である。

現在に至るまで隆起の時代である。過渡期世界に於け
る階級階級が著つたり、一権力をめぐる、ブル
とプロの長期の攻防戦起されてくる。六〇年代
後半、各日前段階隆起の無自覚的敗北は、各日
帝國主義諸國の発展一平和共存一協調の時代
として、中核の下に諸階級を統合しつつ、復讐
一抑圧一反動戦争の全面的開始を成熟させつつあ
る。戦後、北上三度目の市場再分割戦が開始され、
六〇年代半から七〇年代にかけて、全面的侵略一
抑圧一反革命戦争が開始されんとしている時代の
隆起の事、尚且つ、六〇年代後半の各日の前段
階級隆起の事、それが彼自覚なまま敗北し、
古界革命戦争の更なる后退的局面を呈しているこ
と、それ故、今必要なのは、各日前段階隆起
の古界革命戦争が、古界武装プロレタリアの歴史
的任務としてあり、それが、意識的に組織されわ
ばならないこと、その古界史的突破を切るものと
して、日本プロレタリアがその任務に力あはな
らねいのである。そして、これは現実的にまず党
派闘争と斗争として開始され、この党派
斗争一党派解体斗争に大衆を動員し、大衆の末端
まで党派斗争一党派解体斗争が持ち込まれねばな
らないのである。

この党派斗争一党派解体斗争の勝利こそが、
単独党派によるプロレタリア・人民の統治、統制を意味し
隆起へ向けた人民の利益と党の利益の一体化過程を意味す
るのである。

前段階隆起ル世界革命戦争への主体的準備、世界党一四
派根据地一隆起の軍隊一階級下組織の建設が必要であり、
我々は、今秋を目標に、その準備を全て完了させる用意が
ある。同時に、我々が秋にその目標を設定するのも、日本
階級斗争の歴史的、実践的経験が一四〇世界を体现せしめ
る時期として形成してきているからであり、六月決戦云々
は誤りである。何故なら、ビン・ゲバの量的拡大を待た
ずとも勝利しないことは、明らかであり、それが単に安保
の自動延長という政治過程で、大衆の自然発生性を安保斗
争という質に於いてしか抱えられておらず、その斗争は意
識的に政策阻止斗争の次元に、六月決戦云々を云っている
階級に封じ込められ、それ故、そのビン・ゲバ斗争は中絶
半端に展開されるのである。

現在の、未だ持続しつつある大衆の自然発生性は、これま
までなかつた程、各派政治集団の参加に見られる様に、大
衆は、根底的次元での党派との結合を要求しているのだ
り、隆起一古界革命戦争一古界社会主義を大胆に提議し、
その下への統治をなさない旨とてあるのである。それ故、
我々は、六月決戦・ビン・ゲバ斗争と云う中途半端な斗争を
物破り、秋隆起に向けて、我々に従つて、人民を統制す
ること、その具体的形態としての六月平和民主をなすら組
織しなければならぬ。全てのプロレタリア人民、とりわ
け、全共斗運動一母保斗争を引いてきた革命戦線連帯に結集
せよ。奥地の各大学一各地区に革命戦線連帯を達成し公然
たる、隆起の為の斗争を展開せよ。

70年前段階武装隆起貫徹
古界党一国際根据地一隆起
の軍隊を建設せよ。

2/23 全大阪革命戦線
市大集合

（阪和線）杉本町

1部時